

溝上教授(京大)が記念講演

日本PBL研究所が10周年でフォーラム

六月十八日、東京電機

大学東京千住キャンパス
丹羽ホールで、NPO法人日本PBL研究所(理事長・上杉賢士・グリーン・ヒルズ小ノ中学校長)の創立一〇周年記念フォーラムが開催され、大学関係者や現職教員など二〇〇名を超える参加者が集まり、熱心に聴き入った。

目下、教育改革においてアクティブラーニングが注目されているが、PBL(Project-Based Learning)はその最先端を行く方法であ

会場には、フォーラム



シンポジウムの様子

では、理事長の経過報告に続いて、京都大学の溝上慎一教授が「アクティブラーニングとしてのPBLの発展可能性」と題する記念講演を行った。

その後のシンポジウムでは、溝上教授の他に同研究所の理事が加わり、理事長の進行により熱いディスカッションが行われた。

なお、同研究所では、フォーラムの翌日を第一回とするアドバイザリー養成講座も実施している。詳細は同研究所HP (<http://www.pbl-japan.com/>)で確認できる。